

# 質疑並びに一般質問

6日間にわたり、次の20人の議員が質問しました。  
ここでは、その一部をお知らせします。  
この記事は各議員が作成しています。

## 柏清風

### 円谷憲人

#### ●IT教育の強化を

**問** 現在の生徒・児童が社会に出るころには、今以上にインターネットに関する技術の必要性が高まっているに違いはない。また、インターネット犯罪の抑止も大切だ。技術的にもモラル面でも、早期からの教育が必要だ。市の取り組みは。

**答** 学校におけるIT環境の整備を進めている。民間のITアドバイザーを導入し活用するとともに、本市独自で作成している指導プログラムを技術面、モラル面の双方から強化している。また、ITアドバイザーと教員がチームを組んで授業を行う取り組みを開始したところだ。教職員に対する研修等も行っている。

**問** 出産時の情報支援の充実を、金銭的な支援のほか、出産

に関する情報提供も妊婦や産後の家庭への支援になると思う。子育て支援サイト「はくはく柏」の出産に関する掲載情報を強化してはどうか。

**答** スマートフォン専用のサイトの新設、子育て支援団体等からも地域の情報が掲載できるシステムに切りかえる形でリニューアルしたい。

**問** 新型インフルエンザやデング熱など感染症への不安が高まっている。市民からの問い合わせなどで気をつけている点は。

**答** 速やかに専用ダイヤルを設置し、感染症の拡大防止や不安解消ができるようにしている。問い合わせについては、適切かつわかりやすく対応するように努めている。

**問** 質の高い、機能的な病院を、市立病院の建てかえに関して、市長の考えは。

**答** 今後の市立病院の特色として、小児科を強化し、また小児二次救急の導入で小児医療の拠点として役割を担っていくことがある。そのために、新しい場所での新しい病院を目指したい。

**問** 市民全体に質の高い医療、機能的な病院を提供することが一番だ。その点に関して、どのように進めていくのか。

**答** 東葛医療圏の二次医療では、それぞれの市立病院がそれぞれの特性を持った役割を担っている。その中で、本市の市立病院も今とは違った形で機能を持つていくことを明確にして、新しい病院をつくっていくことが市民のためだと考えている。

### 古川隆史

#### ●空き家対策について

**問** 国が全国的に空き家の実態調査をしたが、本市の現状で空き家はどの程度あるのか。また条例に基づいて、市は何件に関与しているのか。

**答** 平成23年に柏市空き家等適正管理条例の施行により具体的な対策をスタートさせ現在に至っている。当時の本市における空き家数は、平成20年の住宅土地家屋調査によると2万1340戸とされ、本条例の対象となり得る空き家は1974戸と推計した。平成23年からことし8月31日までの3年間で、市民等からの相談件数が365件、そのうち何らかの措置を講じた件数は288件で、約半数の145件については改善が図られたものの、残り143件については解決に至っていない。

**問** 今回の補正予算案の中に改修関連の費用が盛り込まれている。今後の改修費用の見込み額は30億円と言われているが、この金額以上に費用がかさむことはないのか。

**答** 場内で働く事業者や来客等の安全確保を最優先に考え、市場機能の根幹となる施設と設備について、今年度からおおむね10年をかけて実施していく予定である。改修費用等は現時点で約28億円を見込んでいるが、場

内事業者の意向などの調整も全て整っている状況ではない。今後は改修費等の高騰も懸念されるので、費用対効果を考慮しながら、極力市費の負担を抑える方法で整備事業を進めていきたい。

#### ●総合計画について

**問** 第五次総合計画の策定に向けた議論が行われているが、これからの少子高齢社会、縮小社会の中で自治体のあり方を考えていくことが求められる。今までのように事業を積み上げていく形ではなく、行政のスリム化や公共施設の統廃合等についても具体性を持たせて盛り込む必要があると考えるが。

**答** 次期総合計画は、右肩上がりの経済成長の中で策定されてきた過去の総合計画と異なり、優先して重点的に資源配分する施策や取り組みを、より具体的に明示していきたい。縮小や統廃合といった内容についても重要テーマとして位置づけていきたい。

### 後藤浩一郎

#### ●市立病院

**問** 移転計画には反対である。土地を買い、建築費高騰の最中建物を見て、財政負担が重い小児二次救急を市単独で行い、パ



耐震改修を予定している公設市場青果棟

ランスのとれた病院配置も変容させ、関連施設の運営にも支障を及ぼす等、多くの問題を将来に残す。財政はもちろん、病院配置のバランスを守ることが一番大切なことである。現地で民間委託する等、事業の再検討を求めたいがどうか。

**答** 建築費の高騰は織り込んであるが、投資額が余りに大きいと医療収入の中で賄えないのは事実なので、しっかりと見きわめていきたい。小児二次救急は、早急な取り組みが求められており、市が役割を担っていかねればならない。

#### ●教育行政

**問** 手賀沼教育者殉難事件はことし11月で70年となる。遺族の方も高齢となり、戦時中の悲しい出来事が忘れ去られようとしている。殉難者は戦争の間接的な犠牲者であり、事件は地域の歴史の1ページである。後世に語り継ぐために我孫子市と積極的に意見交換してはどうか。

**答** 記録の保存、我孫子市にある慰霊碑の管理、慰霊行事の継承はもちろん、教職員に対して啓発活動を行う子供たちにも地域の歴史学習に関連して学習してほしいと考えている。ことしは70周年の節目を迎えるので我孫子市と協議を進めていきたい。

#### ●土地行政

**問** 北柏駅北口土地区画整理事業は、ようやく仮換地案の供覧に至った。本市が均衡あるまちとして成長していくために当該事業の成功は不可欠であるが、現在の進捗状況はどうか。

**答** 権利者から仮換地案に関して、数件の意見が上がっている。権利者の了解を得られるよう協議、調整を行っている。今後は調整池等の排水設備を先

行して整備する予定である。

#### ●地域の諸問題

**問** 新大利根橋有料道路が無料となり、周辺道路の渋滞がひどい。周辺の信号サイクルを連動的に改良したり、道路の区画線・サインを改良することが取り組みやすいと考えるがどうか。

**答** 当該地域の渋滞解消は、広域的な道路整備に視点を置いた対策が必要である。当座は区画線の見直しができるかどうか等、現状の中で対応したい。

### 村田章吾

#### ●行・財政改革について

**問** 一部の地方自治体では、繁忙時期のある部署を対象に、併任辞令を活用し、経験のある職員を応援に充たらせることで、人件費の抑制を図っている。新潟県三条市では、この方法により職員の残業時間を減らし、臨時職員の減員を実現している。本市においても検討をすべきと考えるが、見解を。

**答** 職員が複数の部署を兼務している状況を常態化させる政策には、慎重に考慮すべき部分もあるが、三条市の事例等も参考にしながら検討してまいりたい。

#### ●図書館分館のあり方について

**問** 市民の方々から図書館分館の施設、サービスの現状について

**答** 職員が複数の部署を兼務している状況を常態化させる政策には、慎重に考慮すべき部分もあるが、三条市の事例等も参考にしながら検討してまいりたい。



市立図書館分館

て御批判をいただくことがたびたびある。利用者の満足度の向上に向けて、図書館分館のサイン刷新に向けた新たな政策の検討が必要と考えるが、見解を。

**答** 図書館分館のあり方は抜本的に見直す必要があると強く感じている。今後、市民の方々の御意見も伺いながら、図書館協議会等で検討を進めていきたい。

**問** 市税の還付基準について

**答** 市民の方から土地などの固定資産税評価額の変更の際の税還付の基準について、よりわかりやすく、より公正な内容を目指すべきだとの意見を寄せられている。具体的には、税額の減額が認められた際には法律の規定を参酌し、過去5年分の過誤納金の還付をルール化するべきとの意見をいただいている。より一層、納税者の理解を得られやすい還付基準を設けるため、学識者などによる基準の再検討を行うことが望ましいと考えるが、見解を。

**問** 学識者などによる公開の場の議論を経た上で、過誤納金の還付の基準を定めるべきとの御意見だが、現時点では考えていない。しかし、他市の取り組みなども参考にしながら、納税者にわかりやすい、説得力のある基準を備えるため、努めていく。

**問** ボランティアの大学生に、ひとり親家庭等の子供の学習支援に従事してもらうための補助金制度を国が設けている。本市でもこの制度を活用し、市内の大学と連携して、経済的な問題を抱えた家庭の子供たちの支援を行うべきと考えるが、見解を。

**答** 大学等との協議を行いながら、事業の実施に向けた調査、検討を進めてまいりたい。